

県では、4つの政策推進の基本方向に沿ってこの10年間で各種施策を展開していく中で、特に力を入れる取組を「重点プロジェクト」として5つ設定しています。

プロジェクト1 新たな素材需給システムと木材需要創出

宮城県CLT等普及推進協議会による技術者育成

- 「宮城県CLT等普及推進協議会」では、平成30年度から「県産材生産・加工・流通」「研究・技術開発」「設計」「施工」「普及広報」の5つの部会を組織して、各分野で専門的な活動を開始しました。中でも、設計・施工に関わる現場技術者の育成に力点を置き、今後のCLTを含む木構造建築に携わる人材の育成を図っています。

【現場技術者育成研修】

県補助事業によるCLT活用建築の建設現場において、設計・施工の現場技術者に対して実地研修を行い、現場技術者の人材育成を行っています。受講者には、協議会独自の制度として「みやぎ『木構造』現場技術者」認定証を授与する仕組みを作り、平成30年度は14人を認定しました。



認定授与式

【ワークショップ形式による公共施設設計チャレンジ】

宮城県林業技術総合センターの建替に当たり、県民に林業・木材産業や、木材利用の大切さなどを発信するシンボリックな研究施設とするため、県産CLT、LVL等を活用することとし、新築設計において、受託者と協議会会員がワークショップ形式で原材料調達、製造・加工・デザイン・構造、施工性などについて意見交換を行いながら設計を行いました。

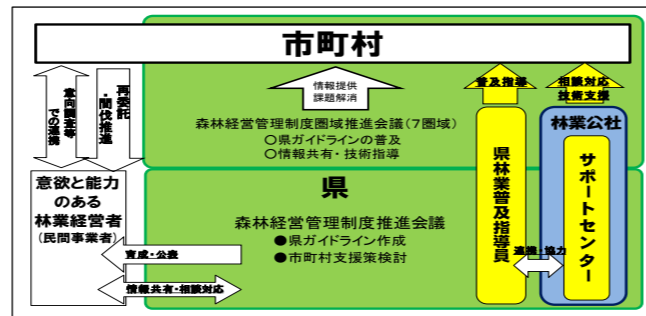


ワークショップ形式での意見交換

プロジェクト2 主伐・再造林による資源の循環利用

「森林経営管理制度」推進に向けた市町村支援

- 制度の主体となる市町村を支援するため、平成30年度は森林経営管理制度推進会議及び7圏域に圏域推進会議を設置し、圏域毎に市町村への情報提供や課題抽出を行いました。
- 制度の運用方法を分かりやすく解説した県独自のガイドラインを作成したほか、制度の推進体制や目標を定めた森林経営管理制度推進方針を作成するなど、市町村が円滑に事業実施できる体制を整備しました。

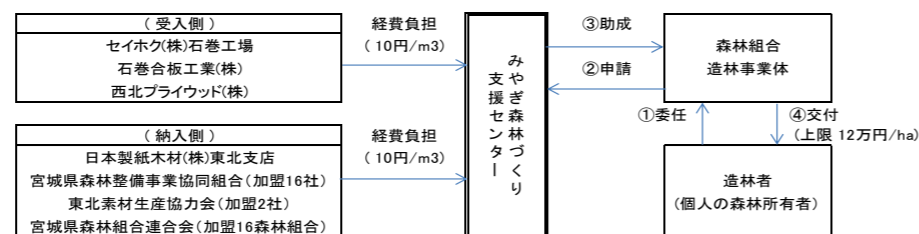


森林経営管理制度推進体制の概要

「みやぎ森林づくり支援センター」による支援

- 県内の林業・木材産業に関わる企業・団体により設立された「みやぎ森林づくり支援センター」が、森林所有者の再造林活動を支援する取組（県の補助事業に助成金を上乗せ）を行っています。
- 平成20年に全国初の取組として始まり、これまで288ヘクタールに支援が行われました。

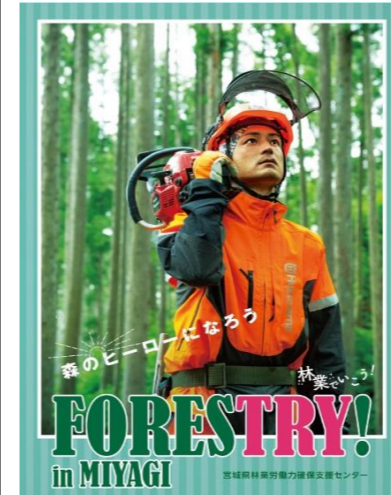
● 平成30年度からは助成金の上限額がこれまでのヘクタール当たり10万円から12万円に引き上げられ、より一層の再造林の促進が期待されています。



みやぎ森林づくり支援センターの概要

プロジェクト3 経営能力の優れた経営者の育成、新規就業者の確保

『山仕事ガイダンスinみやぎジョブカフェ』の開催、『FORESTRY! 就業支援パンフレット』



パンフレット表紙

- 平成30年7月に若者就職支援施設「みやぎジョブカフェ」で初の山仕事ガイダンスを行いました。
- 我が県林業の新規就業者確保の中心的役割を担う宮城県林業労働力確保支援センターから、宮城の林業就職を紹介するパンフレット「FORESTRY! in MIYAGI」が平成30年8月に発行されました。
- 勾当台公園のイベント等でもパンフレット等の展示を行いました。



山仕事ガイダンスinみやぎジョブカフェ



勾当台公園のイベントでの展示

※優れた経営者の育成については、平成31年度から実施

プロジェクト4 地域・産業間連携による地域資源の活用

登米地域におけるSDGsの実現に向けた取組と林業成長産業化地域としての選定

- 登米地域では、登米市森林管理協議会が中心となり、SDGsに大きく貢献するFSC認証に基づく「林業成長産業化地域構想」を平成30年度に策定し、林野庁の地域採択(全国で12地域)を受けました。登米市森林管理協議会では林業成長産業化地域創出モデル事業をスタートし、県では地域構想策定に続き、広葉樹フローリング製品化など事業者連携による認証製品供給・活用の取組を支援しました。



FSCのコナラを使ったフローリング材



FSCの広葉樹チップから作ったボックスティッシュ

プロジェクト5 海岸防災林の活用等による震災の教訓伝承と交流人口の拡大

『復興イベントとタイアップした植樹体験ツアーの開催』『海岸防災林再生ワークショップの開催』

- 仙台放送主催「東北・みやぎ復興マラソン」の参加者を対象に植樹体験ツアーを開催しました。参加者116名が岩沼市寺島地区の県有防災林内に、抵抗性クロマツの苗木1,000本を植栽しました。



マラソン終了後、植樹をする親子



クロマツ林の密度管理に関する講演

- 「海岸防災林再生ワークショップ」を開催したところ、「海岸防災林の保育管理」をテーマとした講演に62名参加し、活発な意見交換が行われました。